

【韓国】閣僚等の靖国参拝及び安倍総理発言糾弾決議の採択

菊池 勇次

(本稿は、海外立法情報課が執筆を依頼したものである。)

* 2013年4月29日、韓国国会本会議において、日本政府閣僚等の靖国神社参拝及び安倍総理の国会答弁等を糾弾し、日本が過去について心からの謝罪を行うよう求めること等を骨子とする「日本閣僚等の靖国神社参拝及び侵略戦争否認妄言糾弾決議」が採択された。

背景と経緯

2013年4月21日、麻生太郎副総理等が靖国神社春季例大祭に合わせて同神社に参拝した。4月23日には、「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」所属の衆参国会議員168人が集団参拝を行った。また、4月22日の参議院予算委員会では、村山内閣総理大臣談話「戦後50周年の終戦記念日にあたって」（いわゆる村山談話）について、安倍晋三内閣総理大臣が「そのまま継承しているというわけではない」と答弁した。

これらの動向に対し、韓国外交部は4月22日、閣僚の靖国参拝に深い憂慮と遺憾の意を表明すると共に尹炳世（ユン・ビョンセ）外相の訪日計画を取り消し、4月25日には駐韓日本大使を召致し、「日本の侵略と植民地支配の過去を正直かつ謙虚な心に照らし、今日の時代錯誤の認識と言行を正す」よう強く求めた。また、韓国与野党も「安倍政権を強く糾弾する決議を直ちに採択する必要がある」との点で意見が一致し、4月26日に国会外交統一委員長を提案者とする「日本閣僚等の靖国神社参拝及び侵略戦争否認妄言糾弾決議案」が発議された。

同日開催された外交統一委員会全体会議では、「2005年に採択された決議（「日本総理等の靖国神社参拝糾弾決議」）とほぼ同じ内容の決議を繰り返すことに何の意味があるのか」「侵略と支配の歴史を否認する者を厳重に処罰する法律の制定を行うと決議すべきだ」との批判が野党議員を中心に続出した。

その結果、議事録によれば、当初案（未公表）にあった第5項（日韓関係発展のため、両国が最善の努力を傾けるよう求める内容）が削除され、第3項及び第4項も一部修正がなされた（議事録には具体的な修正箇所に関する言及なし）。一方、「（日本は）離れ島に孤立した三流国家に転落するであろう」という表現について、与党議員から「品格も考慮する必要がある」との指摘がなされ、「国際社会からの孤立と非難を免れない」という表現に改められた上、同委員会でも可決された。その後、4月29日に開催された本会議において、同決議案は全会一致で採択された（以下筆者翻訳）。

決議の全文

主文

大韓民国国会は、4月21日及び23日、日本の副総理を含む閣僚及び多数の国会議員

員が東条英機等の太平洋戦争 A 級戦犯が合祀された靖国神社を参拝し、日本の総理が日帝の軍国主義侵略戦争を否認する妄言を行ったことに対し、度を越えた非理性的盲動及び妄言と規定し、これを強く糾弾し、

日本の一部閣僚及び国会議員が、かつて大韓民国及び中国等、アジア諸国の無辜の国民に形容しがたい凄惨な苦痛を加えた日帝軍国主義の蛮行に対し、骨身を削る徹底した反省と心からの謝罪をせず、歪曲された歴史認識に基づき、恥知らずな妄言及び妄動を続けていることは、

未来志向的な北東アジアにおける友好善隣関係の構築に甚大な否定的影響をもたらし、数え切れないほどの時間が流れても、洗い流すことのできない日本帝国主義の罪過と蛮行を忘れずにいるアジア各国とその国民の強い抵抗に直面し、日本の責任ある人々と良心的な国民が過った軍国主義の亡霊の復活を放置する場合、日本は今後アジアの責任ある国家としての地位をすべて喪失し、国際社会からの孤立と非難を免れないことを強く警告し、次のとおり決議する。

1. 大韓民国国会は、日本の副総理等、一部閣僚及び多数の国会議員が、A 級戦犯が合祀された靖国神社を参拝したこと及び総理をはじめとする一部の人々がかつての日帝軍国主義侵略戦争を否認する愚かな発言を繰り返したことについて、こうした非理性的盲動及び妄言は、未来志向的な韓日関係の構築及び北東アジアの平和定着に深刻な否定的影響を招来する外交的挑発行為という点で、これを強く糾弾する。
2. 大韓民国国会は、日本の責任ある人々が日本自らの未来とアジアの未来のため、これ以上太平洋戦争の戦犯を参拝する非理性的盲動及び否定できない過去を否定しようとする愚かな妄言をやめ、数多くの人々に凄惨な苦痛をもたらした日本の過去について、徹底的に反省し、心からの謝罪を表明することを強く求める。
3. 大韓民国国会は、大韓民国政府が日本の副総理等の靖国神社参拝及び総理による侵略戦争を否認する妄言等、軍国主義回帰の動きに対し、あらゆる外交的手段を動員し、実質的かつ効果的な強い措置をとることを求める。
4. 大韓民国国会は、日本の副総理等の靖国神社参拝及び総理の妄言に対し、アジア各国及びその国民、そして国際社会が問題の深刻さを深く認識し、共に対処していくことを求める。

参考文献(インターネット情報は 2013 年 6 月 19 日現在である。)

- ・「외교부 보도자료」(外交部報道資料) <http://www.mofa.go.kr/news/pressinformation/index.jsp?mofat=001&menu=m_20_30>より
- ・「제 315 회국회(임시회) 외교통일위원회회의록 제 6 호」(第 315 回国会(臨時会)外交統一委員会會議録第 6 号) <http://likms.assembly.go.kr/kms_data/record/data2/315/pdf/315ci0006b.PDF>
- ・「일본각료 등의 야스쿠니신사 참배 및 침략전쟁 부인 망언 규탄 결의안」(日本閣僚等の靖国神社参拝及び侵略戦争否認妄言糾弾決議案) <http://likms.assembly.go.kr/bill/jsp/BillDetail.jsp?bill_id=PRC_Q1E3Z0D4P2X6Y0O9H3Y8V0S7M3W8Y2>